

平成 31 年度（令和元年度） 全国学力・学習状況調査の結果について

令和元年度
枚方市立長尾小学校

文部科学省が今年 4 月に実施した、平成 31 年度（令和元年度）全国学力・学習状況調査の結果について、全国を基準とした経年推移等によって、本校の学力や学習の状況を保護者の皆様にお知らせします。児童の生活習慣と学力には相関関係があることから、引き続き、保護者の皆様にもご協力をお願いいたします。

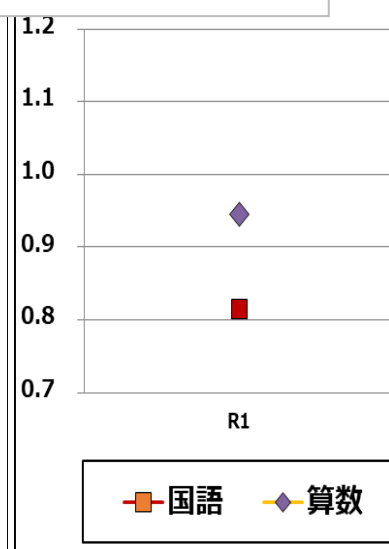
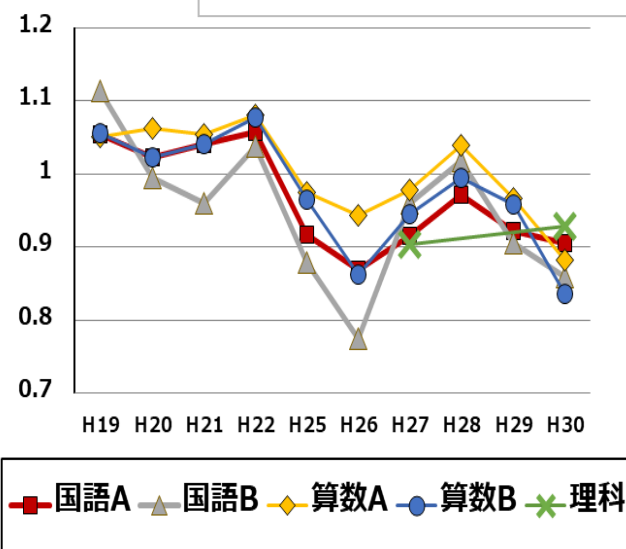
【全体概要】

学力調査の結果

学力調査結果の中から、本校と全国の経年比較（対全国比）をお知らせします。
（※今年度より、A・B 問題が一体化されましたので、グラフを分けています。）

※調査結果について
教科や出題範囲が限られていることから、
全国学力・学習状況調査により測定できるのは、学力の特定的一部分です。

（全国の平均正答率を 1 とした経年比較）



＜学力調査結果の概要＞

- 国語について
→全国の平均正答率と比べ低くなっています。関心態度、書く能力では全国平均より上回っている項目もあります。聴くこと・話すことの領域が特に低くなっています。
- 算数について
→全国の平均正答率と比べ少し低くなっています。図形領域や技能の面で全国より上回っています。

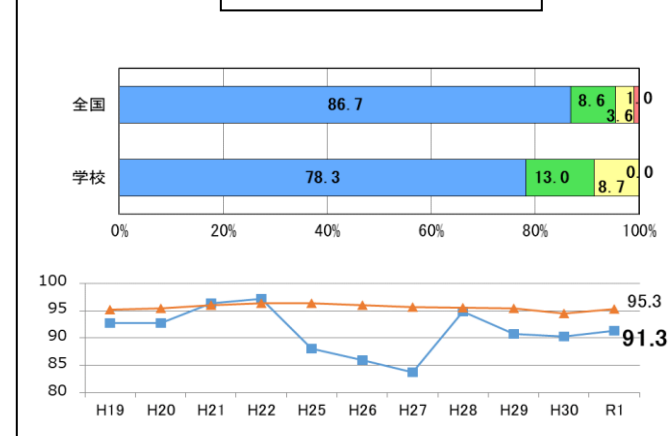
質問紙調査の結果

※帯グラフは、左から「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」「どちらかといえば当てはまらない」「あてはまらない」を示しています。
※折れ線グラフは、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の合計数値となっています。
※無回答があるため、帯グラフの合計数値は 100 にならない場合もあります。

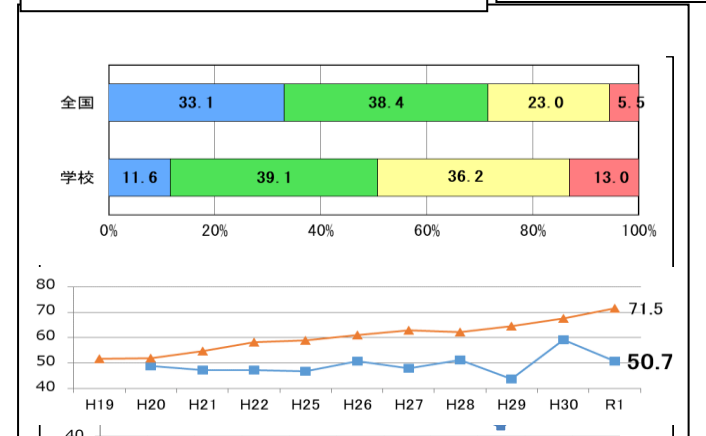
質問紙調査結果の中から、主な項目について、本校と全国の経年比較をお知らせします。

▲ 全国
■ 本校

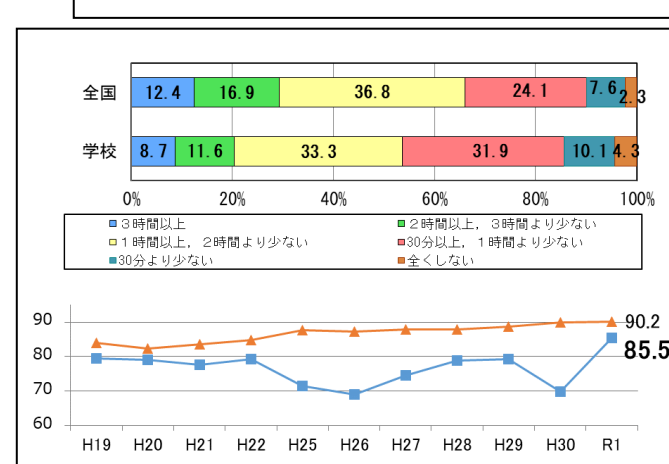
朝食を毎日食べている



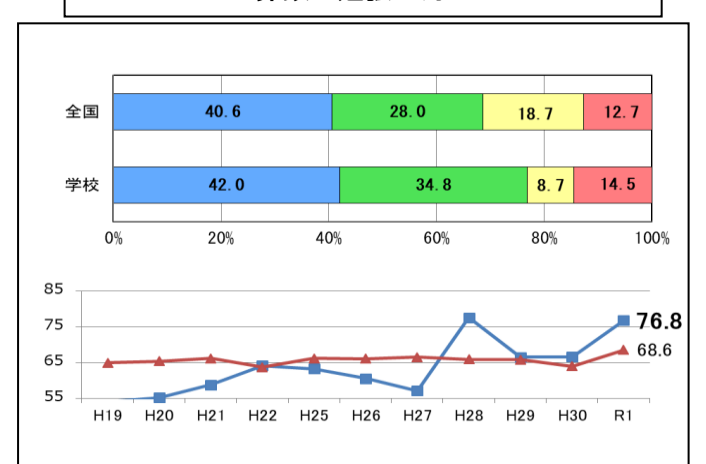
自分で計画を立てて勉強している



授業時間以外、普段(月～金)1 日の勉強時間



算数の勉強が好き



＜質問紙調査結果の概要＞

- 生活習慣について
朝食を食べる割合が増加はしましたが、全国平均には及びません。
- 家庭学習について
「自分で計画を立てて勉強している」は昨年度より減少し、全国平均と比べても、低い数値となっています。
- 授業について
「算数の勉強が好き」の項目では、肯定的な回答が増加し、全国平均以上の回答がありました。

＜まとめ＞ 算数の学力は、昨年より上昇していますが、国語に関しては下降しています。質問紙調査においては、上昇傾向の項目が多くみられます。
学校においては、授業力を高め、基礎基本の習熟を図りつつ、「対話」を大切にすることで表現力を高め応用力を付ける取り組みをしていく必要があります。また、家庭学習の充実も課題であると考えますので、ご協力をお願いします。

※次ページ以降に、「各教科に関する調査」「質問紙調査」における詳細な結果について公表しております。

※本調査は、平成 19 年度から実施されています。
※平成 23 年度は中止(東日本大震災)、平成 24 年度は一部の学校を対象にした抽出調査のため、掲載していません。

【詳細について】

教科に関する調査

＜国語＞

成果や課題があった設問

【成果】

考えの理由を明確にまとめる

□ 高橋さんの学級では、生活の中で気になったことを調べ、友達に報告することになりました。高橋さんは、公衆電話について調べています。次は、高橋さんが書いている「報告する文章」です。これをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【報告する文章】（省略）

（三）高橋さんは、「3 調査の結果をもとに考えたこと」の□に「2 調査の内容と結果」の（1）と（2）で分かったことをまとめて書いています。□に入る内容を、次の条件に合わせて書きましょう。

（条件）

○「2 調査の内容と結果」の（1）と（2）の両方から言葉や文を取り上げて書くこと。

○「報告する文章」にふさわしい表現で書くこと。

○書き出しの言葉に続けて、四十文字以上、七十文字以内にまとめて書くこと。

（書き出しの言葉）調査の結果から、公衆電話は、わたしたちにとって必要がなくなってしまうわけではないと考えました。

なぜなら、（この続きの文章を書きます。）

【課題】

ことわざ

岸さんは、「【インタビューの様子】」の中の「習うより慣れよ」ということわざの意味を調べて、ノートにまとめています。次の「【フートの一部】」のウに入る例として最も適切なものを、あとの1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

【フートの一部】

習うより慣れよ（意味）
ものごとは、人に教わるよりも、自分で実際にやってみるほうがよく身につくということです。

（使い方の例）
ウ

1 何度も乗って練習すれば、自転車にうまく乗れるようになるよ。習うより慣れよだよ。

2 どんな所でも、住み慣れればよい所だと思うようになるよ。習うより慣れよだよ。

3 新しいくつは最初のはきこちが悪いけれど、数日はくと足になじむよ。習うより慣れよだよ。

4 一生涯ん命がなばつたから、あれこれ考えず気長に結果を待とうよ。習うより慣れよだよ。

	正答率	無解答率
本校	29.4	7.4
全国	28.8	3.8

（考察） 目的や意図に応じて、自分の考えの理由を明確にし、まとめて書くことを問う問題です。

全国平均と比べ、正答率が高くなっています。

正答例 （なぜなら）公しゅう電話は、主にけいたい電話を使うことができないときに必要とされていたり、きん急のときにも使うことができたりするからです。

	正答率	無解答率
本校	52.9	32.4
全国	73.0	7.9

（考察） ことわざの意味を理解して、自分の表現に用いることを問う問題です。

全国平均と比べ正答率が低く、無回答率は高くなっています。

本問題以外にも、漢字など「言語の知識」領域について低い数値になっています。

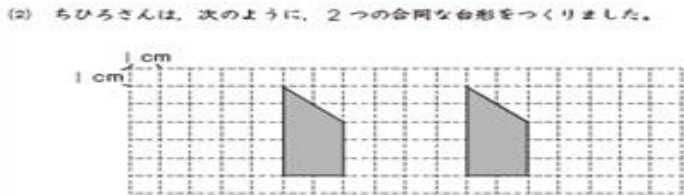
正答 1
誤答 4の誤答が 7.4%

＜算数＞

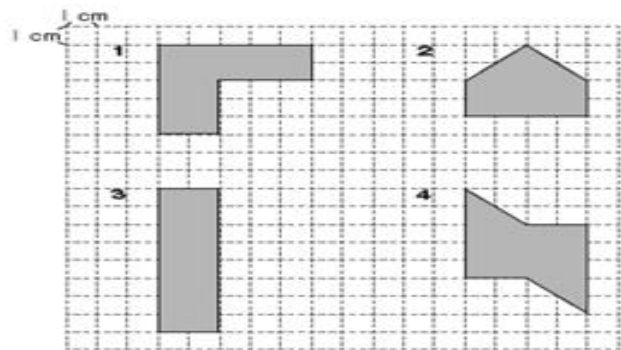
成果や課題があった設問

【成果】

図形の性質や構成要素がわかる



上の2つの合同な台形を、ずらしたり、回したり、裏返したりして、同じ長さの辺どうしを合わせ、いろいろな形をつくります。どのような形をつくることができますか。下の 1 から 4 までの中からすべて選んで、その番号を書きましょう。



小算一2

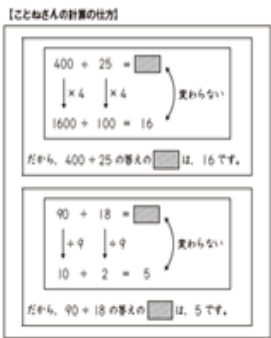
【課題】 除法に関して成り立つ性質を記述する

ゆいさんは、くり下りのあるひき算を計算したときにもどした考えをふり返って、次のようにまとめました。

【ゆいさんが考えたこと】

ひき算では、ひかれる数とひく数に同じ数をのけても、ひかれる数とひく数から同じ数をひいても、商は変わりません。このことを使えば、計算しやすいひき算の式で考えることができます。

こたねさんは、 $400 \div 25 = 90 \div 18$ のようなわり算についても、計算しやすい式にすることができると思い、次のように考えました。

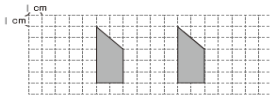


ひき算について書かれた「ゆいなさんがまとめたこと」と同じように、わり算についても「ことねさんの計算の仕方」をもとにまめると、どのようになりますか。□の中に、「わられる数」「わる数」「商」の 3 つの言葉を使って書きましょう。

わり算では

このことを使えば、計算しやすいわり算の式で考えることができます。

(2) ちひろさんは、次のように、2つの合同な台形をつくりました。



上の2つの合同な台形を、ずらしたり、回したり、裏返したりして、同じ長さの辺どうしを合わせ、いろいろな形をつくります。どのような形をつくることができますか。下の 1 から 4 までの中からすべて選んで、その番号を書きましょう。

	正答率	無解答率
本校	66.2	1.5
全国	60.3	0.6

（考察）

2つの合同な台形を、ずらしたり、回したり、裏返したりして、同じ長さの辺どうしを合わせて作ることができる形を選ぶという問題です。図形の特徴や性質に着目し、他の図形を構成できるかを問うています。

全国平均と比べ、正答率が高くなっています。

正答 1. 3. 4
誤答例 1. 4（10%の誤答）

	正答率	無解答率
本校	17.6	11.8
全国	31.1	10.8

（考察） 減法の計算についてまとめたことを基に、除法の計算の仕方についてまめるとどのようになるのかを書くという問題です。

全国平均と比べ、正答率が低く、無回答率は高い。

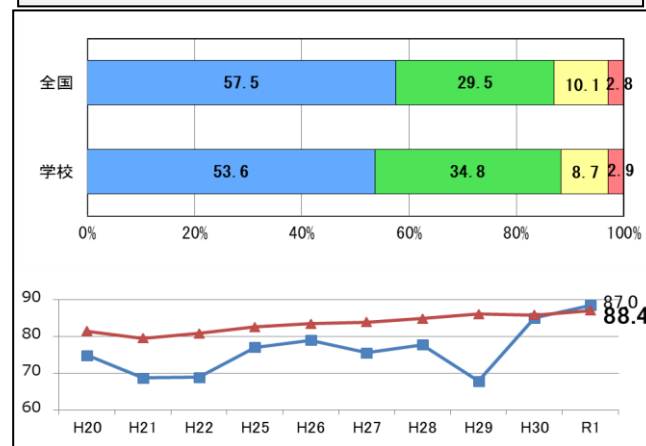
正答例 わられる数とわる数に同じ数をかけても、わられる数とわる数を同じ数で割っても、商は変わりません。

質問紙に関する調査

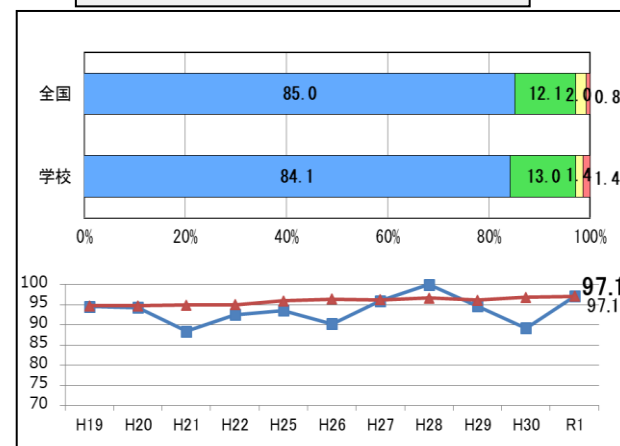
※帯グラフは、左から「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」「どちらかといえば当てはまらない」「あてはまらない」を示しています。
※折れ線グラフは、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の合計数値となっています。
※無回答があるため、帯グラフの合計数値は 100 にならない場合があります。

【成果のあった項目】

① 算数の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いている

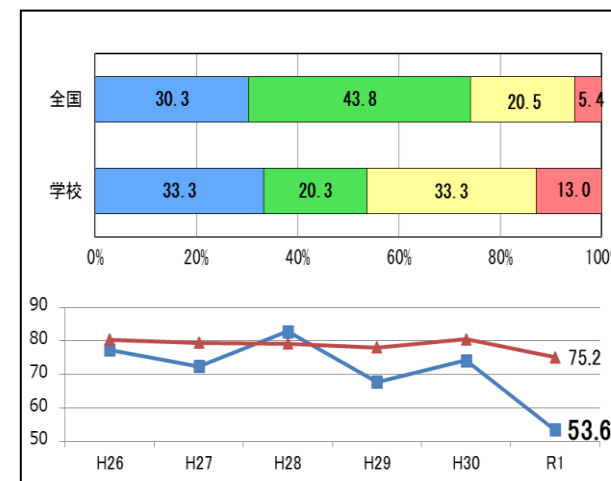


② いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う



▲ 全国
■ 本校

⑥家の人と学校での出来事について話をします



(考察)

④＜自己肯定感＞

「自分には良いところがあると思いますか」の項目では、昨年より減少し、全国平均よりも低い。

⑤＜読書活動＞

「授業時間以外、普段の 1 日の読書時間」の項目では、平成 28 年から低下傾向にある。また、全国平均より低い。

⑥＜コミュニケーション＞

「家の人と学校での出来事について話をするか」の項目では、平成 28 年から減少傾向である。また、全国平均よりかなり低くなっている。

分析結果を踏まえて今年度中に取り組んでいくこと

(1) 授業改善について

児童が「主体的で」「対話的な」「深い学び」を実現できるように、日々教育実践を重ねながら、校内研究部で研究を進めているところです。一昨年度から、国語科を中心に「うけとめあい・つたえあい・つくりあう子ども」をテーマに授業研究会や、授業の相互参観（先生が授業をお互いに見て、授業実践力を深める）、また、校長の授業観察を通じて、教員の授業力を高めるように努めてきました。その成果が「書くこと」に現れてきていますが、言葉や漢字などに課題が残っていますので、基礎基本の徹底を図ります。

(2) 学習規律について

どの児童も「学校に来ることが楽しみだ」と感じることで、学習意欲は自然と高まります。そのためにも、学習規律や学校のルールを守ることができるよう丁寧な指導していきます。人権意識が高まりつつありますので、授業の中で、また、特別活動や道徳教育の中で、さらに「優しい学校」を目指していきます。

(3) 読書指導について

国語、算数ともに何を問われて、どのように解答するかは、しっかりと問題を読むことにかかっていると思います。そのためにも読書指導の充実を図る必要があると感じます。図書館の蔵書の充実や枚方市中央図書館との連携、長尾中校区の学校司書による協力も得て読書指導を充実させ、読むことが好きな子どもを増やしたいと思います。

(4) 家庭学習について

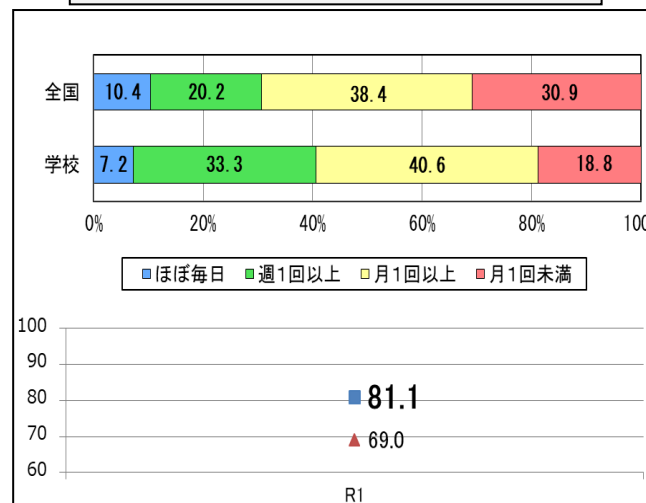
学校で学んだ学習事項を定着させるためには、反復練習が必要です。また、学校で学んだ内容をさらに深く追求することも学習には必要なことです。そのためには、家庭学習の充実が必至だと感じています。

宿題をしっかりとすることは勿論ですが、自学自習の習慣を身に付けさせたいと思います。予習や復習や、自分で興味のある事柄について調べる等、学習の楽しさを自ら感じ、積極的に学習できるように、自学ノートを活用した家庭学習に取り組ませたいと思います。

そのためにも、学習の基礎基本の徹底、授業の振り返りの中で、自らの課題を見つけさせる等、授業を充実させます。

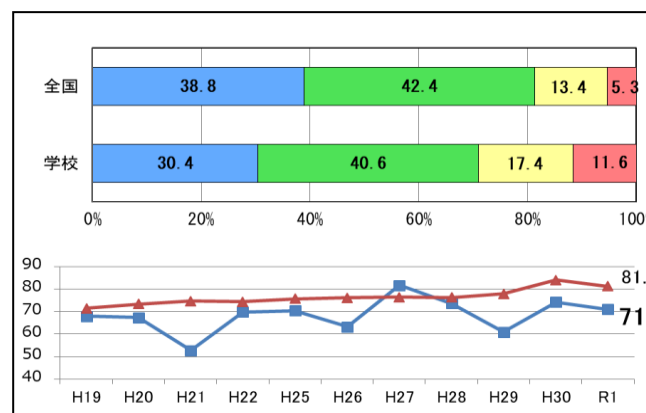
今後とも、ご家庭のご支援・ご協力をよろしくお願いします。

③ 5年生までに受けた授業で、コンピュータ等のICTを月1回以上使用した



【課題が残った項目】

④自分には良いところがあると思いますか



⑤授業時間以外、普段（月～金）1日の読書時間

